

変態双子

の

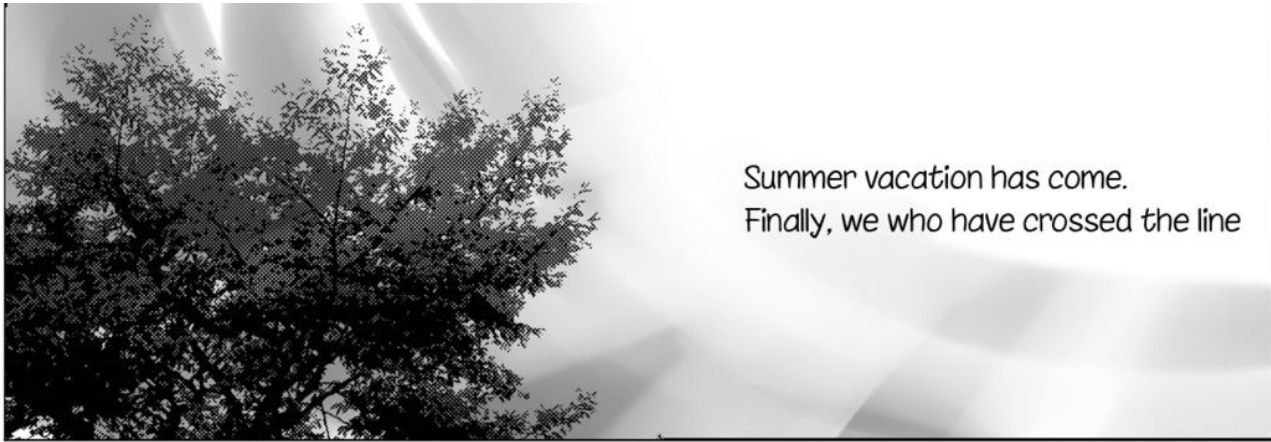
夏休み



変態双子の夏休み

今作は同人誌「変態双子」
もしくは単行本
「スク水とブルマで双子が変態!!」
の外伝です
本編第10話で省略された
8月のまぐわい模様を描いています





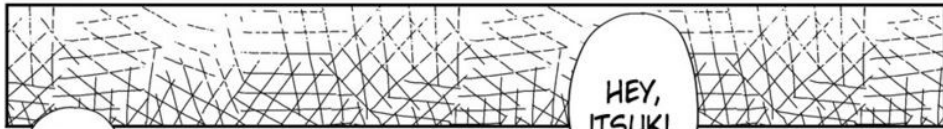
Summer vacation has come.
Finally, we who have crossed the line



piling our bodies
without sparing a
moment



sought after
even greater
stimulus



HEY,
ITSUKI.

WHAT?



IT'S HOT, ISN'T IT, ITSUKI?
ON A DAY LIKE THIS, WE
SHOULD GO TO THE POOL.
YES, THE POOL!
LET'S GO, ITSUKI.
SINCE IT'S SO HOT,
WE'LL GO TO THE POOL!



WOW,
THIS IS THE FIRST
TIME I'VE SEEN
SOMEONE SO BAD
AT HIDING THEIR
MOTIVES.

AND NOBODY
SUSPECTING
ANYTHING ABOUT
YOUR NAKED
UPPER BODY IS
ENSURED!

flat
chest

WEAR
BLOOMERS
UNDER YOUR
SWIM TRUNKS,

no
stripes



S-

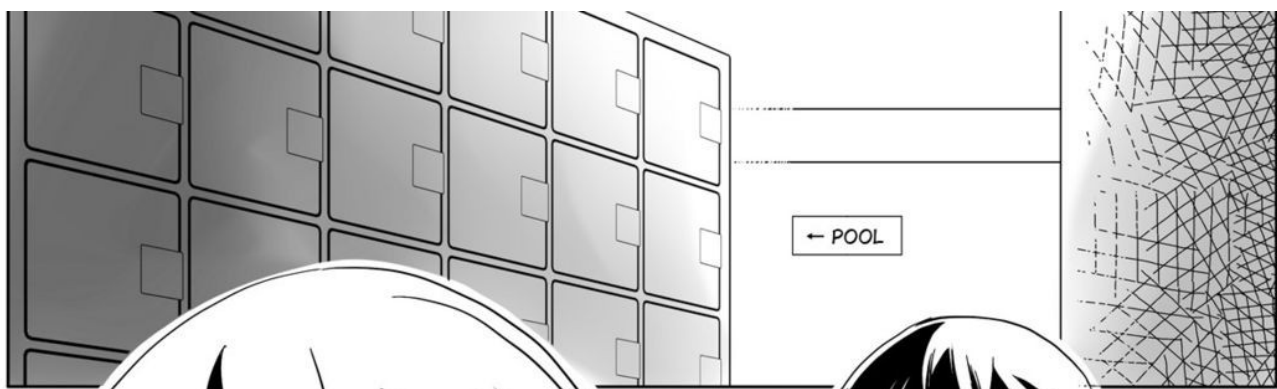
SO
CRASS!

HIDDEN
MOTIVES?
THAT'S
ABSURD!

CRASS?

ABSURD?

EN-
SURED?



NOBODY WOULD THINK THAT THERE'S A GIRL BLATANTLY EXPOSING HER NAKED UPPER BODY...



ANYWAY, I'M A GUY, SO IT'S NATURAL FOR MY UPPER BODY TO BE EXPOSED.

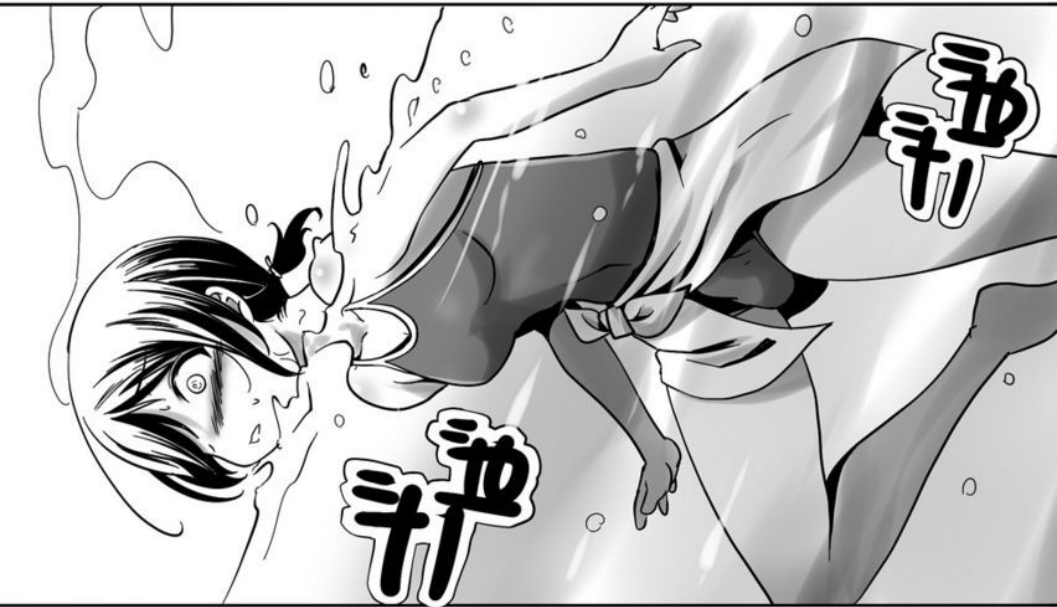


IT'S OKAY. IT'S OKAY. MY CHEST IS FLAT SINCE MY BLOOMERS DON'T HAVE STRIPES.

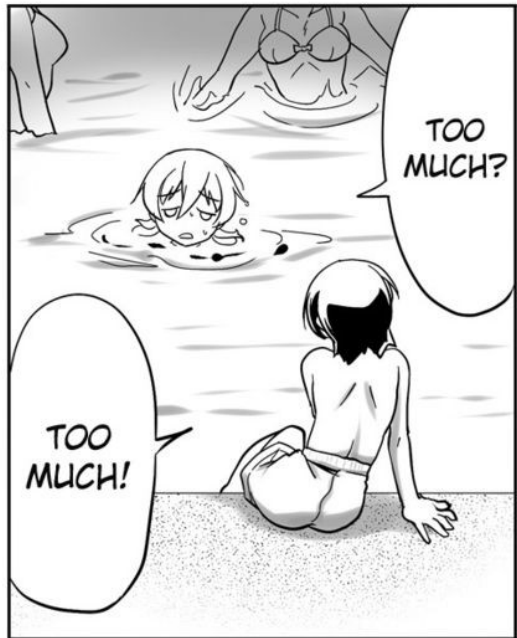


EXCEPT FOR ONE...



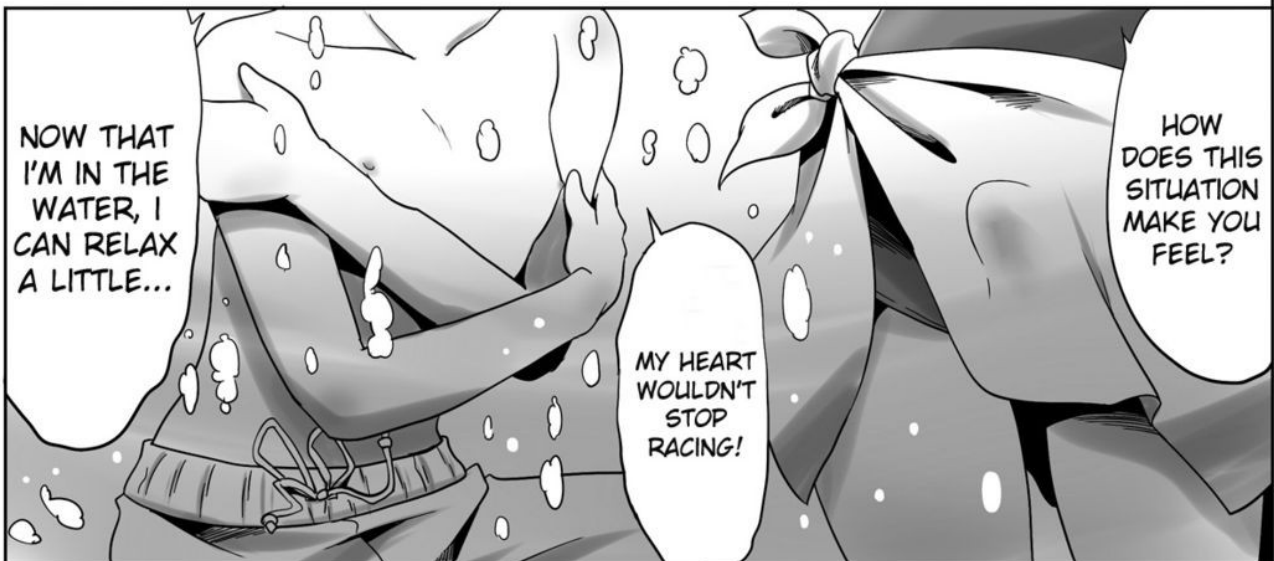


I TRIED MY BEST!



TOO MUCH?

TOO MUCH!



NOW THAT I'M IN THE WATER, I CAN RELAX A LITTLE...

MY HEART WOULDN'T STOP RACING!

HOW DOES THIS SITUATION MAKE YOU FEEL?



I...
I CAN'T!

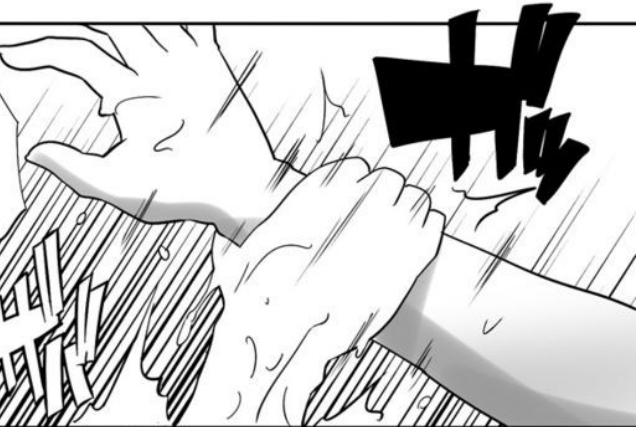
I...
I'D UNDER-
STAND IF
YOU'D
SHOW
YOUR TOP
HALF.

THAT'S A
STRUCTURAL
IMPOSSIBILI-
TY!



WHOSE
FAULT IS IT
THAT MY
HEART IS
BEATING SO
QUICKLY?

HI-



NOBODY'S HERE

BLOOMERS

H A A A A

I'M GLAD NOBODY ELSE IS HERE,

BUT,

SOMEONE WILL COME IF YOU'RE TOO LOUD.

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

TANS ARE CUTE...

HEHE, YOU'RE GETTING A LITTLE TAN.

OOH... BUT BLOOMERS FEEL SO GOOD!

dan~

dan~





HN-

AH

AH

AH

G-

I'M CUMMING!

CUMMING!

LOOK
ME IN
THE EYES
AND SAY
IT!

ONEE-
CHAN,

♡ C
U M M I N G ♡
♡ ♡ ♡ ♡

♡ C
U M M I N G ♡
♡ ♡ ♡ ♡

U~N

U~N

U~N

U~N

U~N







FIN



ONEE-CHAN, SINCE I WAS IN THE POOL,

I'VE BEEN SO WET.

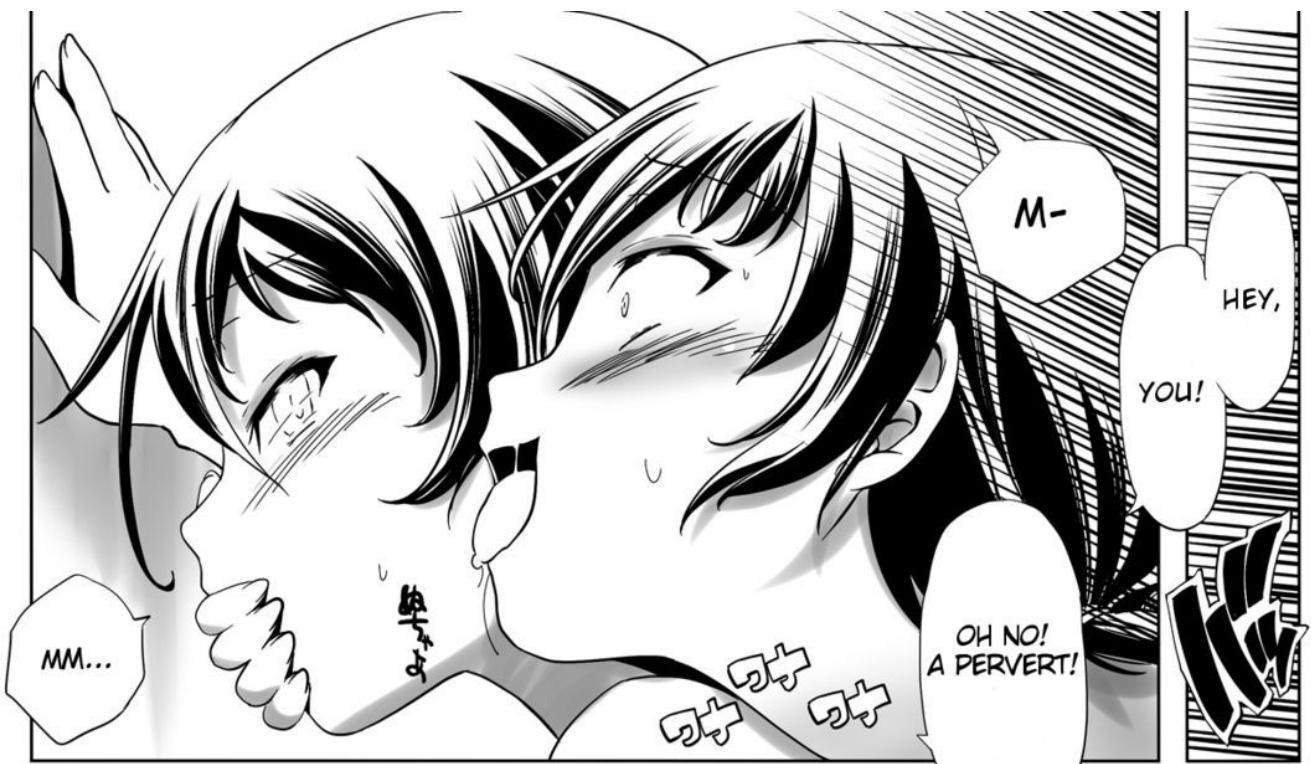


AND
BECAUSE
I ATE YOUR
CLIM,

MY
VOICE WILL
DEFINITELY
SLIP OUT,
SO PREVENT
ME FROM
SPEAKING
AS YOU

MY
HYMEN HAS
STARTED
QUIVERING.

RAPE
ME.

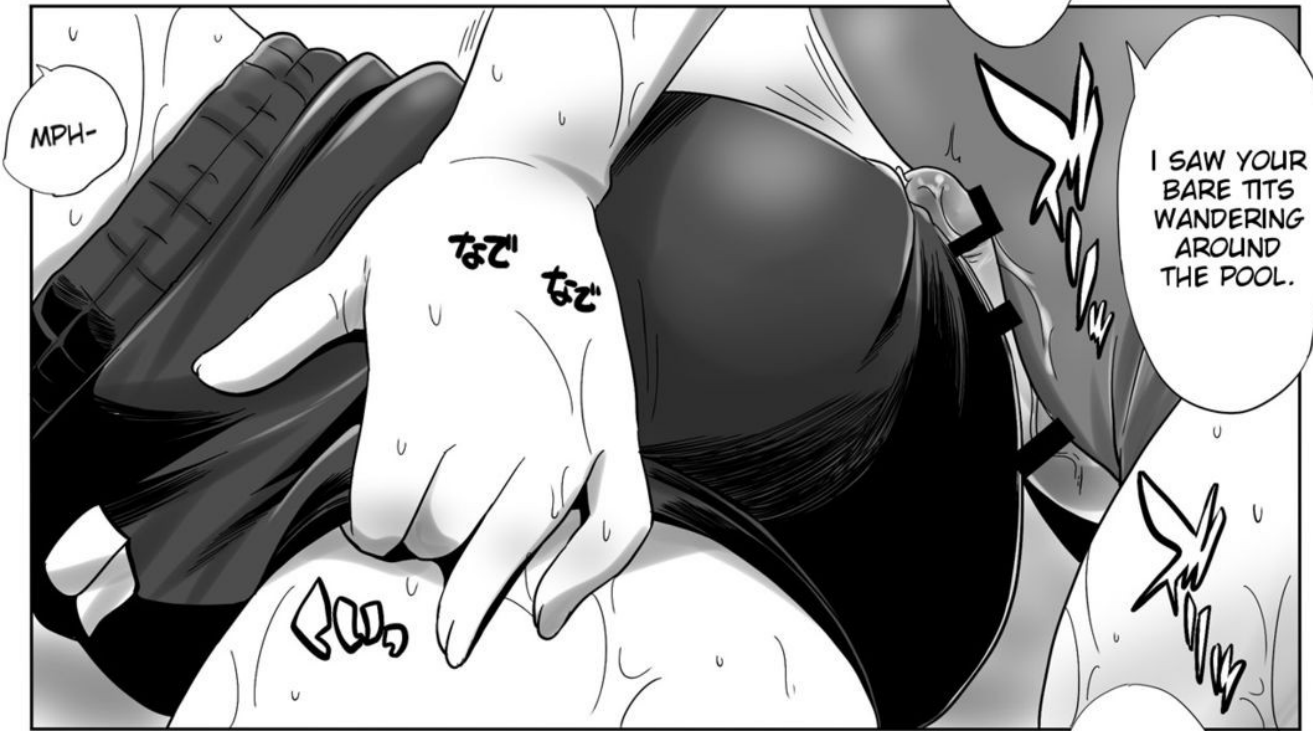


MM...

M-

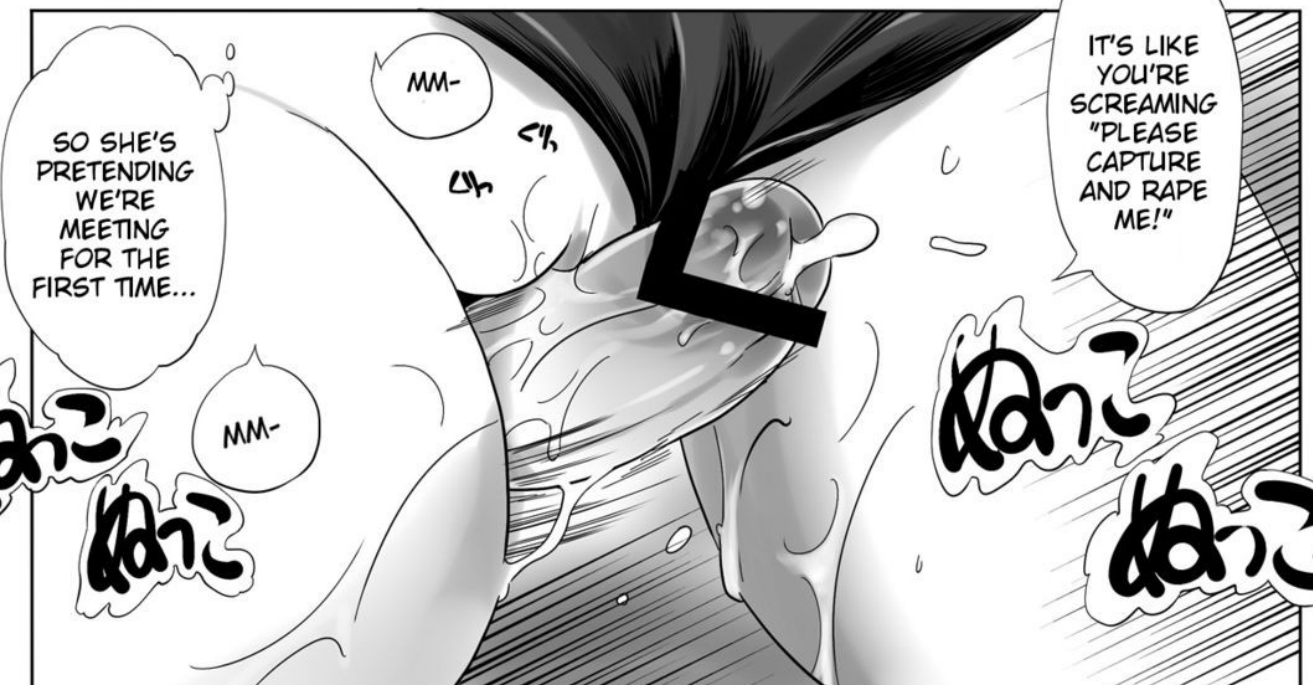
HEY,
YOU!

OH NO!
A PERVERT!



MPH-

I SAW YOUR
BARE TITS
WANDERING
AROUND
THE POOL.



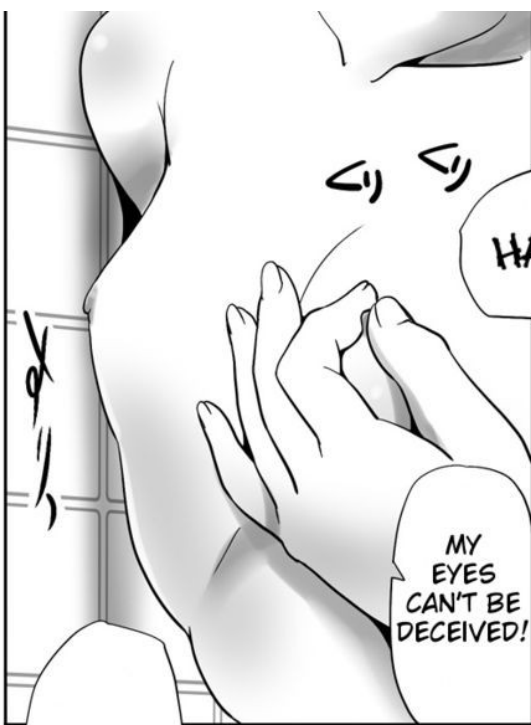
SO SHE'S
PRETENDING
WE'RE
MEETING
FOR THE
FIRST TIME...

MM-

IT'S LIKE
YOU'RE
SCREAMING
"PLEASE
CAPTURE
AND RAPE
ME!"

MM-
dan? dan?

dan? dan?



MY EYES CAN'T BE DECEIVED!

IT REEKS OF THE SCENT OF BLOOMERS!



HNG-



HA-AH...

DID YOU THINK YOU COULD PASS FOR A BOY BECAUSE YOUR TITS ARE SO SMALL?



I-

I-



YOUR NAME?

WHAT IS

I'M MITSUMI.



ITSUKI!



IT'S USELESS.

STOP...

I'M...

NOT A SLUT LIKE THAT...



Hm...

ITSUKI? I CAN TELL FROM YOUR NAME THAT YOU'RE A SLUT.

AH...

YOUR HYMEN'S BEEN TORN,

BUT THAT CAN'T BE HELPED.

WITH A NAME LIKE THAT, IT WOULD TAKE A MIRACLE TO BE A VIRGIN UNTIL NOW.

Hm...



WHAT'S THAT?

THERE'S SOMETHING YOU DON'T HAVE ENOUGH OF.

YES.

I WANTED TO BE RAPED BY YOU?

I'M WRONG? YOU WANTED TO BE RAPED BY ME,

SO YOU WERE WANDERING AROUND WITH A LEWD NAME AND BODY, RIGHT?



MY CLIM!

ROOY



AH! CLIM!

ROOY

ROOY



WHAT? WHAT?

ALSO, THERE'S SOMETHING I NEED MORE OF, TOO.



YOU!

C
♡
♡
♡
♡
♡
♡

HEHE...
I'M IN
TOTAL
ECSTASY...

I THINK I
SHOULD
MAKE THEM
SMALLER
FOR THE
WAY BACK.

AH, MY
BREASTS
ARE OUT.



OKAY!

WELL,
HURRY UP!
OUR BREAK IS
RUNNING OUT
SOON!

WELL,
THREE
STRIPES
WILL FEEL
GOOD,
TOO...

N-
NO WAY!
THREE
STRIPES!

WE CAN GO
HOME AND YOU
CAN FUCK ME
WEARING A
SWIMSUIT WITH
FIVE STRIPES.

お久しぶりです。

変態双子の12巻が2014年9月発行だったので、実に2年ぶりの最新刊、通巻13作目がようやく完成しました。

単行本化されたまではよかったんですが、そのあとサキュバス本描いたり、艦これ本だのバトガ本だの描いたりしていたので本当に長い間お待たせしてしまいました。

単行本化されたあと、まあシリーズ完結したのでやり切ってしまったという燃え尽き感と違法アップに心を折られていたのとで、正直なところ双子の事は何一つ考えたくなかったんですよ……

pixivなんかを見ても双子の絵は12巻の同人サンプルを最後に1枚もアップしていない。たしかバトガを描いてる最中に「今の絵柄で双子描いたらどうなるかな」と一枚アナログで描いたのが唯一だったかもしれない。

とにかく。

ネタはちょいちょい残っているのですが、まずはリハビリとしてスピアウトを1作描こうと思いました。双子がまだ自分の中に生きていたんだろうかという確認をしたかった。

まあそれは杞憂に終わって、ネームを描き始めたらかなり勝手にキャラが動いてくれたので非常に楽だったわけですが。

一作描き終わってみて今度は、これ今更ウケんのかな？2年も前に完結した作品とかみんな忘れてるよな……という不安に駆られている今現在であります。

次回作も特に何を描くか決めてません。まあプロットは昔々に書いたのがあるのでそれを順次描いていけばいいんですが、なんかこう、ビクついている。

こんな古いプロット今更通用するのか？とか、明るいストーリーばかりでなく鬱々としたものもあるけど鬱展開描いてもいいもんか？とか。

でもよくよく思い返してみれば旧作もビクビクしながら描いていた。

当時は自分自身TSFというのがよく分かっていなかったし、そもそも「TSF」という単語を知らずに描いていた。

だから門外漢もいいところだったわけで、「ありがたいんだけど、なんでこんなにウケてるのかわからなくて死にたい。いつかTSF界の地雷を踏み抜いて死ぬんだ、俺」と思っていた。結局何がウケたのかわからないまま完結して単行本化されて……実は今もわかってない……

うーん、次何描こう……

あ、次ページからキャラ紹介とこれまでのあらすじが始まります。

ここ最近二次創作ばかりだったから、キャラ紹介とかやっていなかったのですっかり失念しておりました。

ペン入れが終わったあたりで気付いたのはいいんだけど、先頭に割り込ませるとファイル名を2ページずつずらさなきゃいけないので諦めて最後に付け足しました。

まだリハビリが必要みたいだなあ……

登場人物紹介



修堂むつみ ♀

二卵性双生児の姉

生物学的に正真正銘の女であるが
紺色のスク水を着ると陰茎が生える

旧スクでは包茎が生える

スク水サイドラインの本数が増えると
陰茎サイズも比例して大きくなる

ブルマフェチ
ブルマ少女フェチ

♂ 修堂いつき

二卵性双生児の弟

生物学的に正真正銘の男であるが
紺色のブルマを穿くと女体化する

ブルマのサイドラインが増えると
乳房のサイズが比例して大きくなる

姉が好き スク水越しの陰茎が好き
姉になりきってのオナニーが好き

精飲で絶頂を迎えるようになった



修堂むつみといつきは二卵性双生児の■学二年生。

ある日、弟のいつきは姉のブルマを穿いてお姉ちゃんオナニー（オネニー）を決行しようとする。

高鳴る鼓動と共にブルマを穿くと・・・いつきは女の子になってしまった！

おちんちんが引っ込む感覚に悶絶している所にブルマフェチの姉むつみが帰宅。目前で悶えているブルマ少女に理性を吹き飛ばされそのまま襲いかかってしまう。

ひとしきりブルマ少女の身体を堪能し、理性が戻ってようやくむつみはこのブルマ少女がいつきだと気づくのであった。

弟にブルマフェチがバレたどころか襲ってしまうという大暴挙に落ち込むむつみ。一方いつきはこの異常体質を問う。

「わたしはスク水を着るとおちんちんが生える」

むつみが説明のため濃紺のスクール水着を着るとむつみの股間にはおちんちんが雄々しくそそり立った！

スク水越しに脈打つお姉ちゃんのおちんちんはいつきの理性を吹き飛ばしてしまい、むつみに襲いかかってしまう。

ひとしきり欲情を吐き散らした後、いつきは以前むつみのスク水を着てオナニーをし、その結果スク水越しのおちんちんが好きになったとカミングアウトする。

一方むつみは母から聞いた修堂家の血筋を説明する。

修堂家の女は濃紺のスク水を着るとおちんちんが生えるのだと。しかしながら修堂家の男はブルマを穿くと女体化するという現象はいつきが一族で初めて発見した。ブルマを穿くような変態はいなかったためである。

落ち込むいつきに慌てたむつみは、旧スクだと包茎が生えるという新たな特異体質を実際に見せる。

水抜き穴からこぼれるお姉ちゃんのおちんちんに理性を飛ばされたいつきは、舐めてもいいよねと迫る。

すっかり姉のおちんちんと精液に取り憑かれてしまったいつきであった。

後日、むつみは「私の身体にはまだ裏ワザがある」と言い出した。なんとラインの入ったスク水を着るとおちんちんがサイズアップするのである。そしてラインの本数が増えるとサイズも更に大きくなるのだ。

一方いつきにライン入りのブルマを穿かせると果たして巨乳化したのである。ラインが増えるとサイズもアップした。

むつみはいつきにフェラチオとパイズリを要求。いつきも嬉々として応じ、精液の奔流に嬌声を上げるのだった。

おちんちんが生えたり引っ込んだりする刺激が苦手だと言ういつき。むつみは「その感覚は亀頭オナニーに近い」と教える。

旧スクを着たむつみは肩紐を上げ下げし、着衣、半脱ぎを繰り返した。こうする事によりおちんちんが伸縮を繰り返し亀頭オナニーと同じ感覚を得られるというのだ。

これまでのおはなし

一方伸縮するおちんちんにすっかり心を奪われたいつきはフェラチオさせてくれと懇願する。

むつみのおちんちんを欲するあまり、喉奥へ喉奥へと差し込んでいくいつきはついにディープスロートを体得した。

新たな快楽を身体に刻まれたむつみはいつきの喉奥に精液の濁流を叩きこむ。口腔を白濁で満たされたいつきは全身が悦びに打ち震え、自身が精液の虜になってしまったことを自覚した。

いつきは姉の精液に全身を犯される欲望に苛まれる。そして自らの子宮に精液を注ぎ込まれ、妊娠し、身体全てを作り変えられたいという渴望に促されるまま、ついにむつみとのセックスを成し遂げる。

行為の後ブルマを脱ぐと体内から精液が排出された。

それを見ていつきは何気なく「気持ち悪いね」と呟くのだが、その言葉を聞いたむつみは突如として頭を抱え込み「気持ち悪いって言わないで」とうわ言のように呟くのだった。むつみの過去にいったい何があったのだろうか。

一年前、むつみが■一だった頃、クラスメイトに東雲琴湊（しののめことり）という少女がいた。

彼女もまたブルマ好きであり、むつみは徐々に性的なつながりを琴湊に求めるようになる。

逢瀬を重ねる内にどうしても劣情を抑える事が出来なくなっていくむつみは遂に「琴湊でオナニーした」と告白する。

身体につながりを求めるむつみに琴湊は「私もむつみでオナニーした。でもまだ心の準備が出来ていない」と拒否しつつも「オナニー見せて。わたしで、して」と無防備な姿を晒し、むつみの情念とオナニーを直に見るに至った。

しかし二学期が始まってすぐ、琴湊は両親の都合で転校する事になった。

「さようなら。ごめんね。気持ち悪かった」それが琴湊の最後の言葉となった。

あまりにも過酷な展開にむつみは琴湊との記憶をある程度封印していたのである。しかし姉をずっと見ていたいつきはその過程をある程度把握していた。把握して尚、姉を一途に想い続けていたのである。「私に触ると汚れる」と半狂乱のむつみに「僕の処女を百回でも千回でも奪って」とすべてを捧げるいつき。

熱い情交の後、それでもいつきは「お姉ちゃんが僕のことを自分のものだって思えるようになるまで、今夜は何度でも処女を奪ってもらうんだ」とブルマを穿き替え、処女膜を再生させるのであった。

激しく抱かれながらいつきは激情を吐露する。「僕はお姉ちゃんでおナニーして、お姉ちゃんのブルマで性転換した！

お姉ちゃんの精子でイク身体になった。お姉ちゃん処女を捧げて。お姉ちゃんに身も心も女の子にされて、お姉ちゃんの精子で卵子を輪姦されて、お姉ちゃんの精子を受精して、僕は妊娠するんだ！」

いつきの激しい愛と情欲の告白に突き動かされ、むつみはもう一つ封印していた記憶を取り戻した。

琴湊と別れた直後、むつみはひたすらオナニーに耽っていた。妄想の中で架空の相手を作り上げ、情欲の対象を琴湊からその架空の人物へと移し替えていたのである。

今、いつきと性交しながら、むつみはその架空の相手が、いつきをモデルに編まれた人物だったという事を自覚した。

遂に、両思いとなる双子。或いは初めから両思いであった事に気づいた双子。

もはや情欲を妨げるものは何もなくなった。

そして7月が終わろうとしていた。

変態双子の夏休み

galley walhalla/庚
2016/8/28 脱稿

twitter:gw_kanoe
pixiv:293863

印刷：ねこのしっぽ





変態双子の夏休み